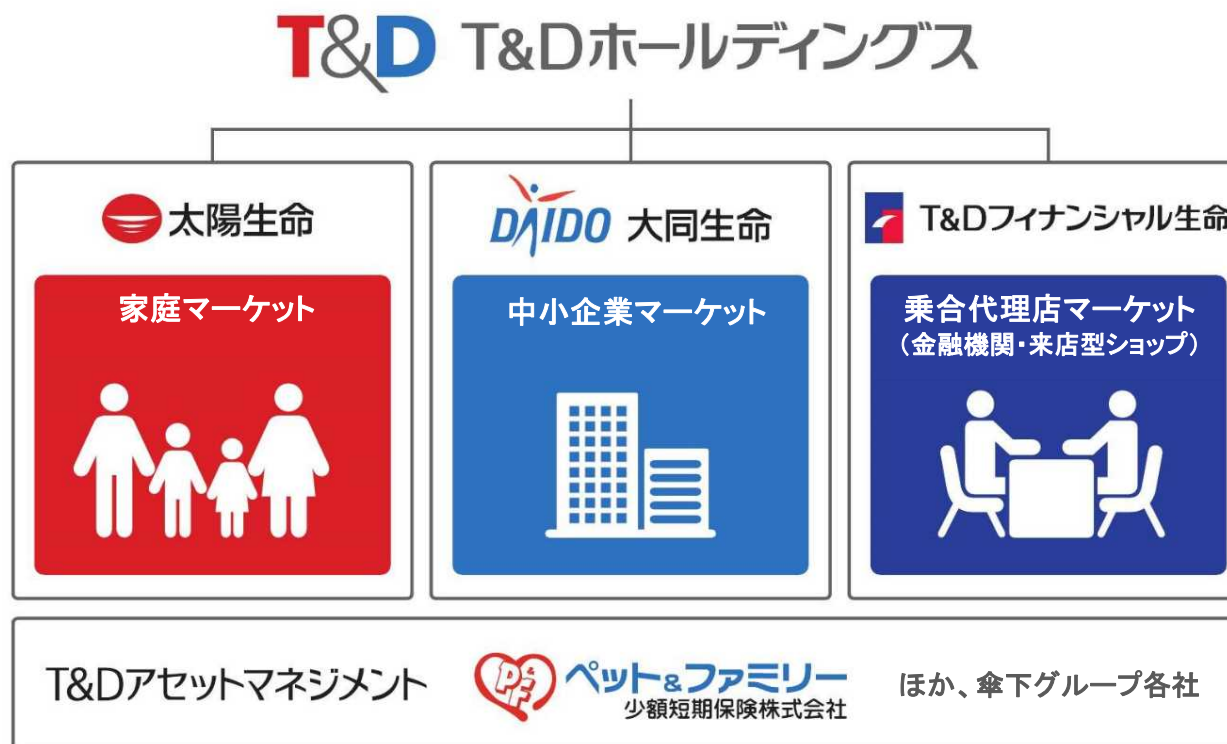


T&D保険グループ 平成30年3月期決算のお知らせ

平成30年5月15日

株式会社T&Dホールディングス



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の生保3社のほか、資産運用関連事業を担うT&Dアセットマネジメントやペット保険を取扱うペット&ファミリー少額短期保険等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T&Dホールディングス(連結)
中核生保3社	: 太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命
3社合算	: 中核生保3社の単純合算

T&D保険グループ決算の概況

1. 契約業績

- ・新契約年換算保険料は、貯蓄性商品の販売停止・抑制により前期から減少。一方、太陽生命の認知症治療保険が堅調に推移したことに加え、大同生命の就業不能保障商品・介護保障商品等が大きく伸展したことから、第三分野の新契約年換算保険料は前期から大幅に増加。また、T&Dフィナンシャル生命においては、主力商品の伸展により新契約年換算保険料が前期比で倍増。
- ・保有契約高は、大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額・「Tタイプ」の就業障がい保険金額・「介護リリース」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の3社合算ベースで前期末から増加し、過去最高を更新。

2. グループ連結損益

- ・前期比で減収増益。経常収益は、保険料等収入が減少したこと等により前期から減少。親会社株主に帰属する当期純利益は、利息及び配当金等収入の増加や価格変動準備金繰入額の減少等により前期から増加し、通期予想を超過。

3. EV(エンベディッド・バリュー)

- ・新契約価値は、第三分野の主力商品の順調な販売等により前期から増加し、過去最高を更新。
- ・Group MCEVは、新契約価値の積み上げや有価証券含み益の増加等により前期末から増加し、過去最高を更新。

4. 株主還元

- ・1株当たり年間配当金(予定)は37.5円(うち期末配当金20.0円)、前期から5.0円増配予定。170億円の自己株式の取得を実施予定。総還元性向は実質利益※の48.4%。
なお、平成31年3月期の1株当たり年間配当金予想は40.0円とし、4期連続の増配を予定。

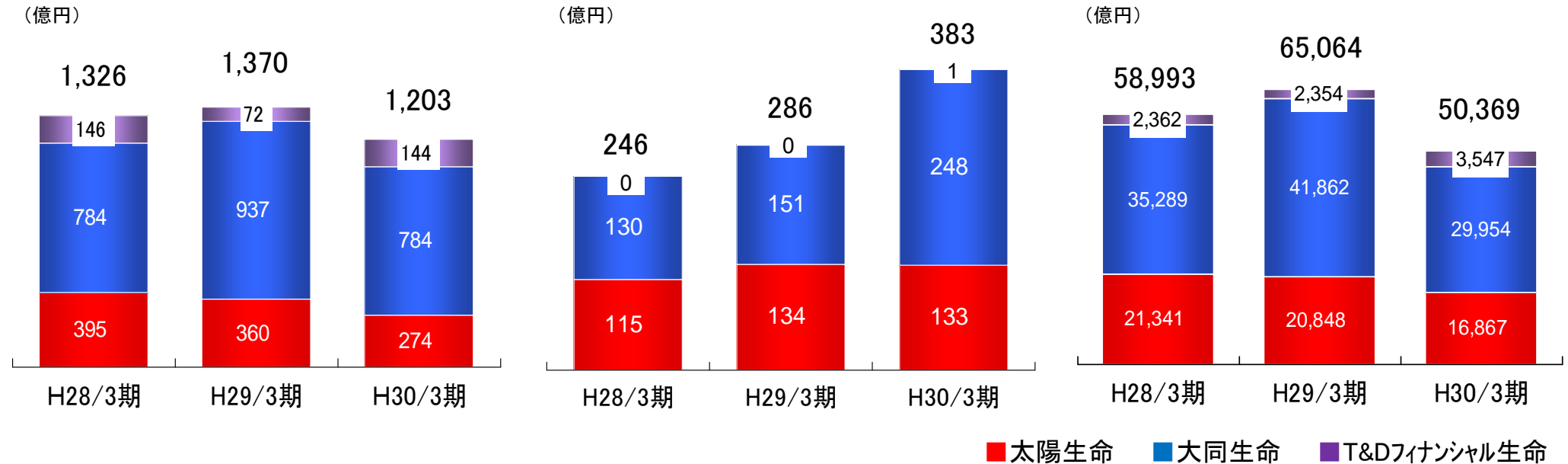
※ 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額(税引後)を加算して算出。

新契約の状況：個人保険・個人年金保険

新契約年換算保険料

第三分野新契約年換算保険料

新契約高



(単位：億円)

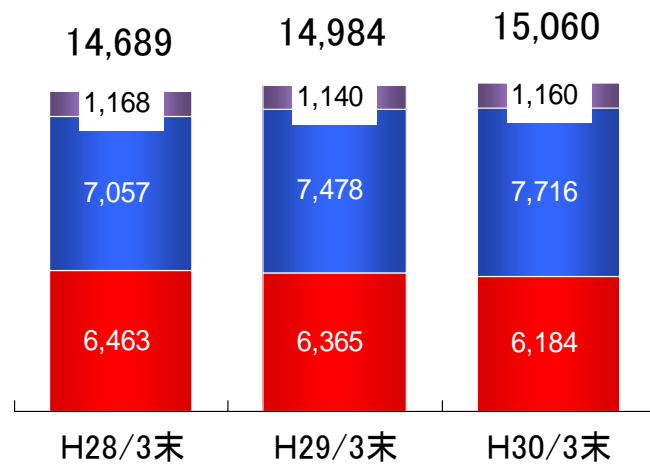
	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比
新契約年換算保険料	1,203	△ 167 (△ 12.2%)	274	△ 86 (△ 24.0%)	784	△ 153 (△ 16.3%)	144	+72 (+99.9%)
うち第三分野	383	+96 (+33.8%)	133	△ 1 (△ 1.2%)	248	+97 (+64.5%)	1	+0 (+117.9%)
新契約高	50,369	△ 14,695 (△ 22.6%)	16,867	△ 3,980 (△ 19.1%)	29,954	△ 11,907 (△ 28.4%)	3,547	+1,192 (+50.7%)
(参考) 新契約高 ※	72,730	△ 1,684 (△ 2.3%)	※ 大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の新契約高。					

* 新契約には、転換による純増加を含んでおります。

保有契約の状況：個人保険・個人年金保険

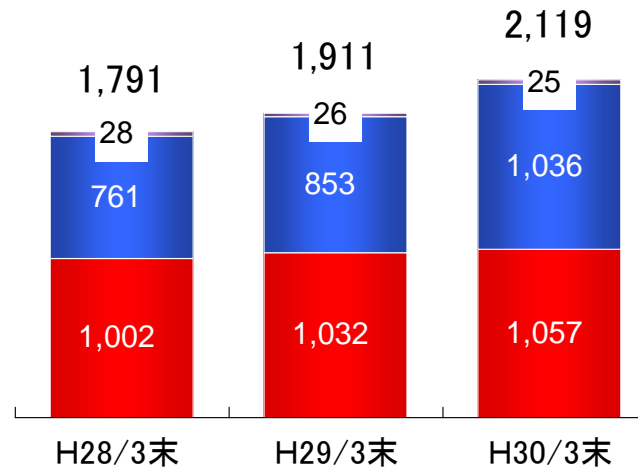
保有契約年換算保険料

(億円)



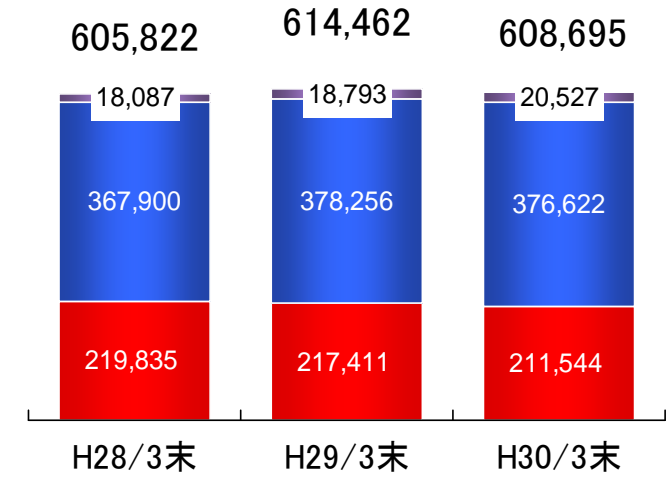
第三分野保有契約年換算保険料

(億円)



保有契約高

(億円)



■ 太陽生命 ■ 大同生命 ■ T&Dフィナンシャル生命

(単位：億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/3末	前期末比	H30/3末	前期末比	H30/3末	前期末比	H30/3末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,060	+76 (+0.5%)	6,184	△ 181 (△ 2.9%)	7,716	+238 (+3.2%)	1,160	+19 (+1.7%)
うち 第三分野	2,119	+207 (+10.9%)	1,057	+25 (+2.4%)	1,036	+183 (+21.4%)	25	△ 0 (△ 2.3%)
保有契約高	608,695	△ 5,767 (△ 0.9%)	211,544	△ 5,867 (△ 2.7%)	376,622	△ 1,633 (△ 0.4%)	20,527	+1,733 (+9.2%)

(参考) 保有契約高 ※

660,107 +13,979
(+2.2%)

※ 大同生命の「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフ」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の保有契約高。

連結損益

(単位: 億円)

	H29/3期	H30/3期	前期比	
経常収益	19,757	19,283	△ 474	(△ 2.4%)
うち保険料等収入	15,052	14,837	△ 215	(△ 1.4%)
うち資産運用収益	4,027	3,727	△ 299	(△ 7.4%)
うち利息及び配当金等収入	2,766	2,854	+88	(+3.2%)
うちその他経常収益	678	718	+39	(+5.9%)
経常費用	18,185	17,718	△ 466	(△ 2.6%)
うち保険金等支払金	11,603	11,461	△ 141	(△ 1.2%)
うち責任準備金等繰入額	2,591	2,628	+37	(+1.5%)
うち資産運用費用	1,302	962	△ 339	(△ 26.1%)
うちその他経常費用	711	641	△ 70	(△ 9.9%)
経常利益	1,572	1,564	△ 7	(△ 0.5%)
特別利益	3	0	△ 2	(△ 90.6%)
特別損失	353	165	△ 188	(△ 53.3%)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	253	303	+49	(+19.5%)
税金等調整前当期純利益	967	1,096	+128	(+13.3%)
法人税等合計	214	320	+106	(+49.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	751	775	+23	(+3.2%)

主な要因

貯蓄性商品の販売停止・抑制等

有価証券売却益が減少

外国証券の利息及び配当金等収入が増加

有価証券売却損が減少

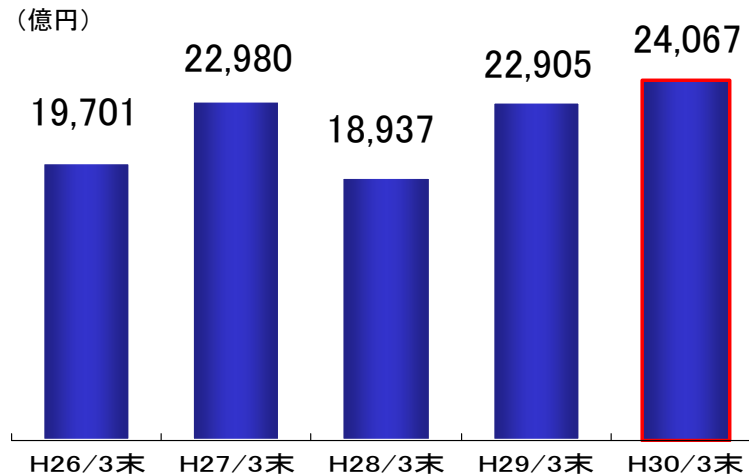
価格変動準備金繰入額が減少

 H29/3期に税効果会計の影響等により減少した
ことの反動による増加

* 保険料等収入の3社合算は1兆4,792億円(前期比△1.5%)です。

市場統合的エンベディッド・バリュー：MCEV[速報]

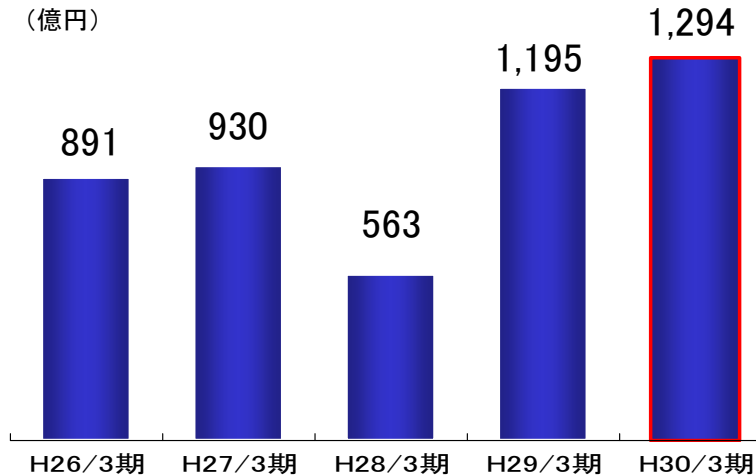
Group MCEV



(単位: 億円)

	MCEV	
	H30/3末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	24,067	+1,161
太陽生命	8,250	+474
大同生命	14,732	+557
T&Dフィナンシャル生命	1,026	+51

新契約価値(グループ全体)



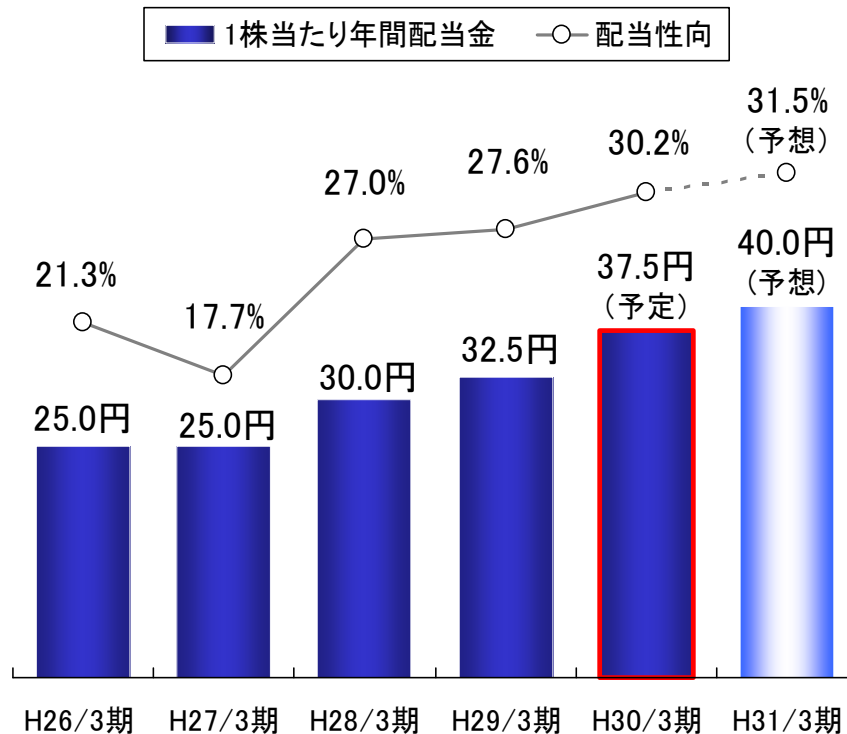
(単位: 億円)

	新契約価値	
	H30/3期	前期差
T&D保険グループ全体 (3社合算)	1,294	+99
太陽生命	409	△ 33
大同生命	842	+99
T&Dフィナンシャル生命	42	+33

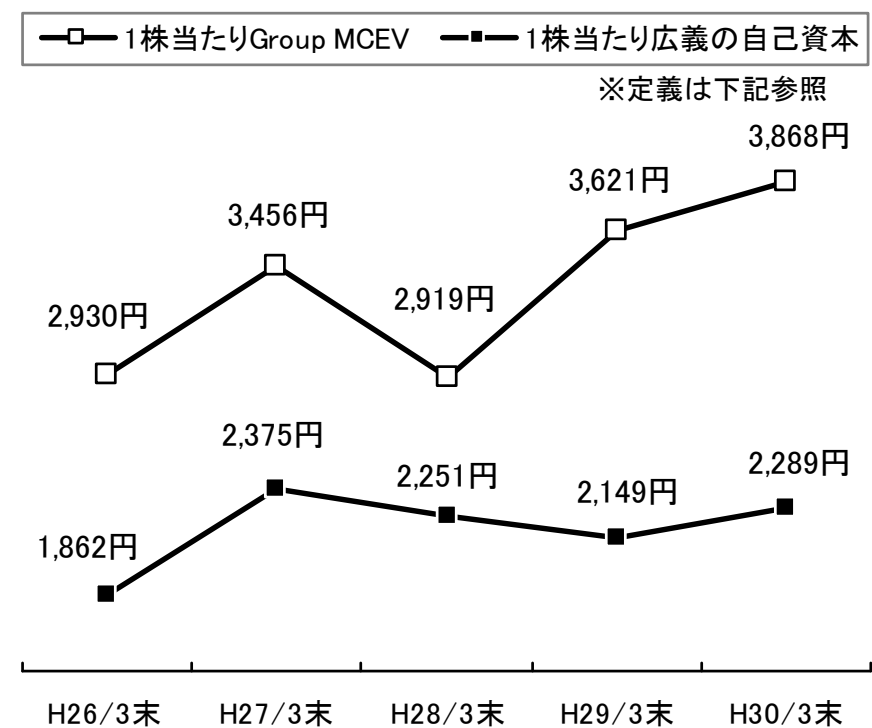
- * 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。
- * 新契約価値は、当年度中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。
- * Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(2兆3,789億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(278億円)」の合計額です。

1株当たり指標

現金配当



企業価値



- 1株当たり年間配当金は、3期連続の増配となる37.5円を予定。配当性向は30.2%。
なお、平成31年3月期の1株当たり年間配当金予想は、4期連続の増配となる40.0円(うち中間配当20.0円)。
- 内部留保の積み上げおよび継続的な自己株式の取得により、1株当たりGroup MCEVは3,868円、1株当たり広義の自己資本は2,289円。

※ 1株当たり Group MCEV	=	$\frac{\text{Group MCEV}}{\text{発行済株式総数(自己株式を除く)}}$	1株当たり広義の自己資本	=	$\frac{\text{純資産}^* + (\text{価格変動準備金、危険準備金、貸倒引当金})}{\text{発行済株式総数(自己株式を除く)}}$
-----------------------	---	---	--------------	---	---

* 純資産は、純資産の部合計から新株予約権、非支配株主持分を控除して算出。

平成31年3月期 通期業績予想

■ T&Dホールディングス連結

(単位:億円)

	平成30年3月期実績	平成31年3月期予想
経常収益	19,283	21,300 程度
経常利益	1,564	1,560 程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	790 程度

	平成30年3月期予定	平成31年3月期予想
1株当たり年間配当金	37.5円(うち中間配当17.5円)	40.0円(うち中間配当20.0円)

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成31年3月期の通期業績予想は次のとおりです。

(単位:億円)

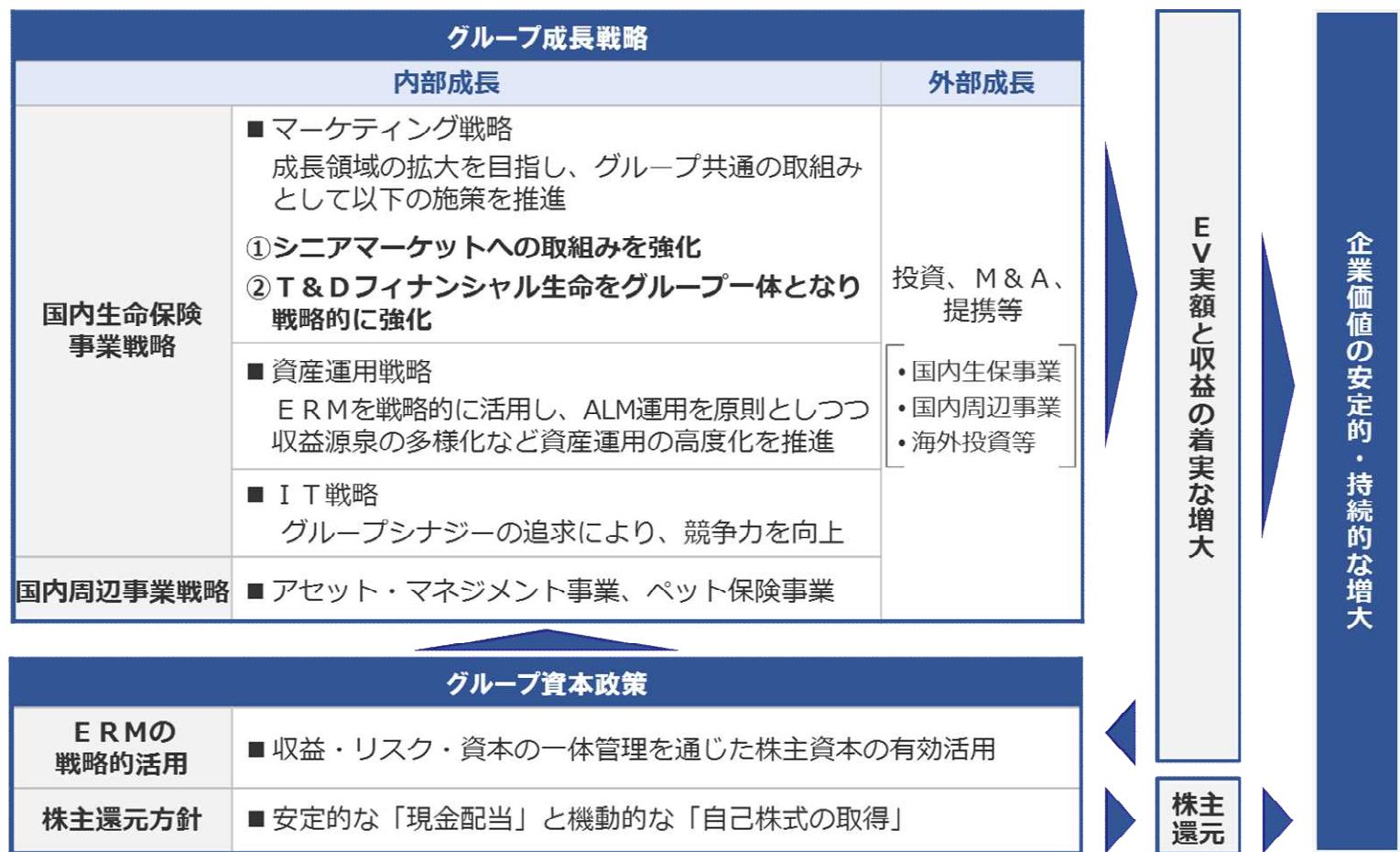
	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	7,600 程度	10,100 程度	3,400 程度
経常利益	630 程度	940 程度	△20 程度
当期純利益	300 程度	500 程度	△20 程度

* 連結と生命保険会社3社合計との差額は、3社以外の連結子会社ならびに連結会社相互間の調整等によるものです。

※ 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

T&D保険グループ 中期経営計画 (2016-2018年度)

Try & Discover for the Next Stage ～成長領域拡大の3年～



中期経営計画の目標指標と実績

■ グループ連結の主要経営指標

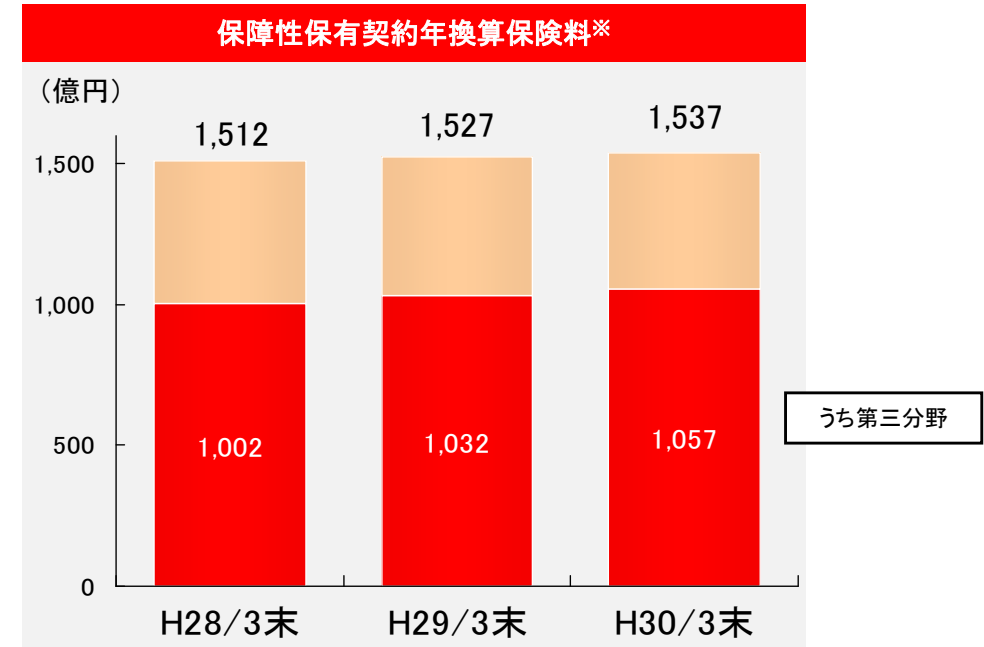
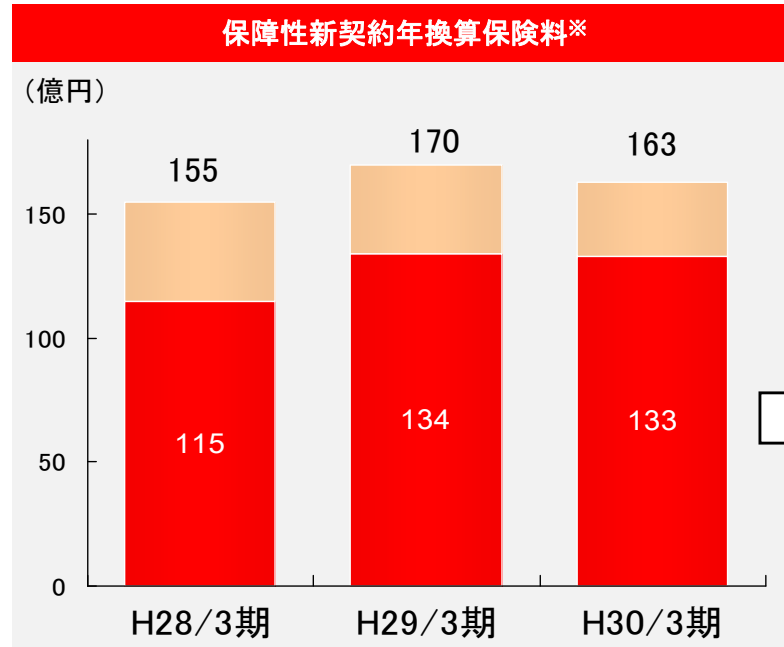
	主要経営指標	中期経営計画目標		2017年度実績
企業価値(EV)	Group MCEV	2018年度末	2兆4,000億円	2兆4,067億円
	新契約価値	2018年度	1,000億円	1,294億円
利益(財務会計)	実質利益※	2016-2018年度	850億円 程度	833億円

※ 実質利益は、当期純利益に、負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち法定基準繰入額を超過した額(税引後)を加算して算出。

	株主還元方針	2017年度実績
株主還元	「現金配当」+「自己株式の取得」により、 実質利益の40%以上の還元	総還元性向 実質利益の48.4% 〔 1株当たり年間配当金 37.5円 自己株式取得 170億円 〕

【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- シニアにニーズの高い「ひまわり認知症治療保険」の販売が好調。



- 保障新契約年換算保険料※は、前期から4.1%の減少。
なお、平成28年3月に発売した「ひまわり認知症治療保険」の販売件数は、今期も堅調に推移。

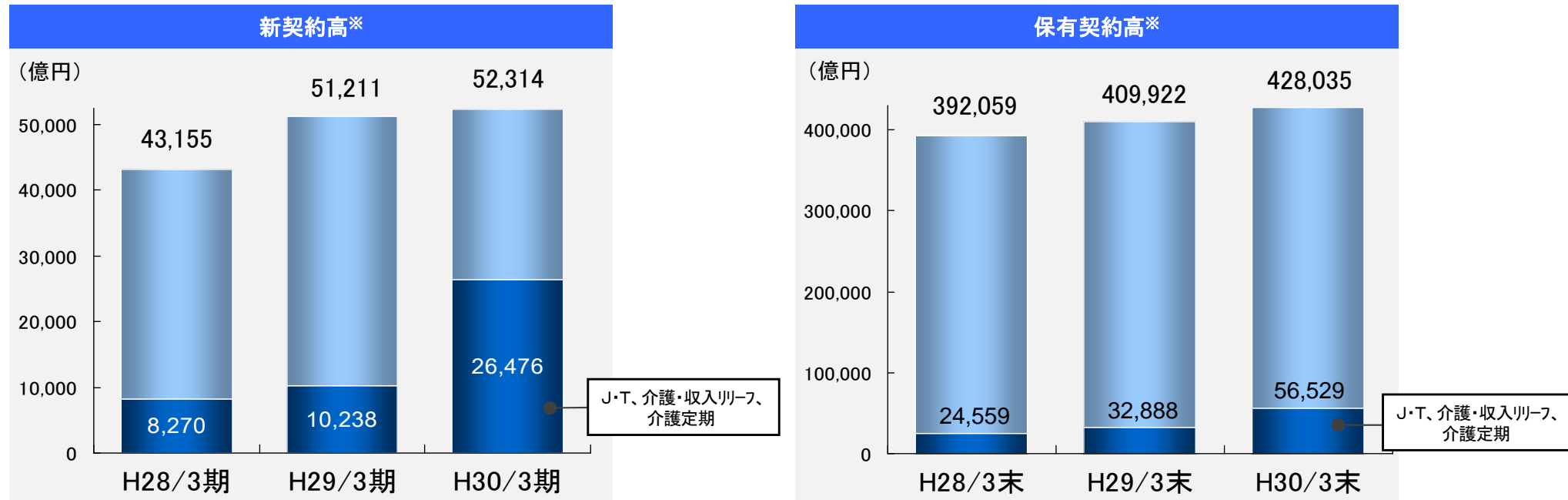
- 保障保有契約年換算保険料※は1,537億円、前期末から0.7%の増加。

※ 保障新契約年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保険料の合計です。
※ 保障新契約年換算保険料の伸展は「EVの伸展」に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標としています。

- ・ 平成28年3月に発売したシニアにニーズの高い「ひまわり認知症治療保険」の販売が好調。「ひまわり認知症治療保険」と「認知症治療保険」合計の累計販売件数は32万件を超過(平成30年3月末時点)。
- ・ 平成28年4月に開始した「かけつけ隊サービス※」の利用件数は4万5千件を超過(平成30年3月末時点)。
※ シニアのお客さまが安心、便利に給付のお手続きができるよう、専門知識のある内務員が直接お客さまやご家族のもとへ訪問し、お手続きサポートを行うサービス。

【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 就業不能保障商品（Jタイプ・Tタイプ）、介護保障商品（介護リリース・収入リリース・介護定期保険）の販売が順調。



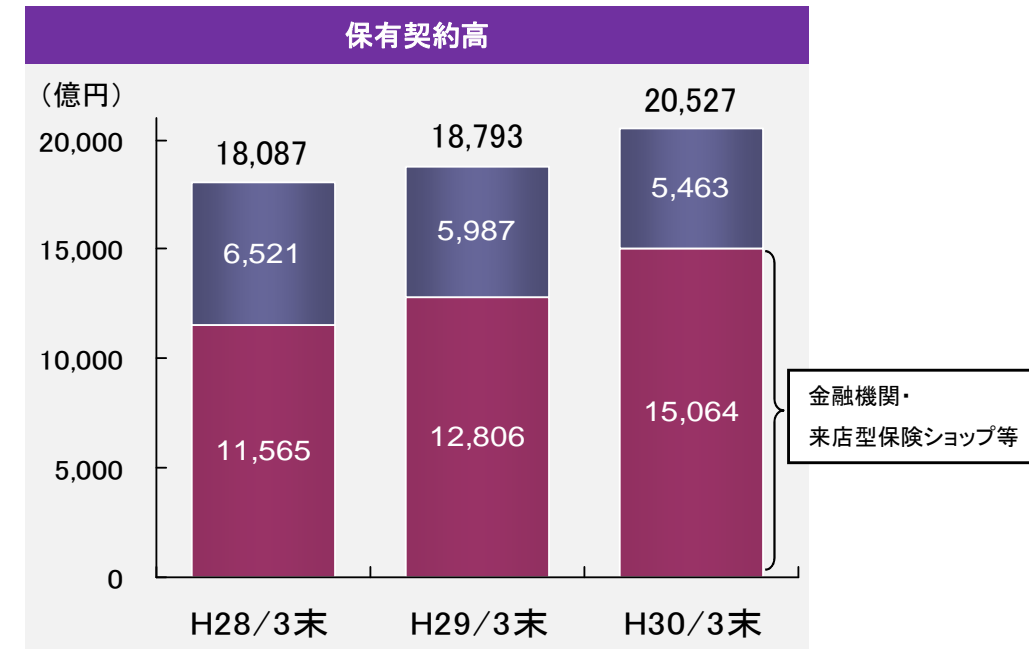
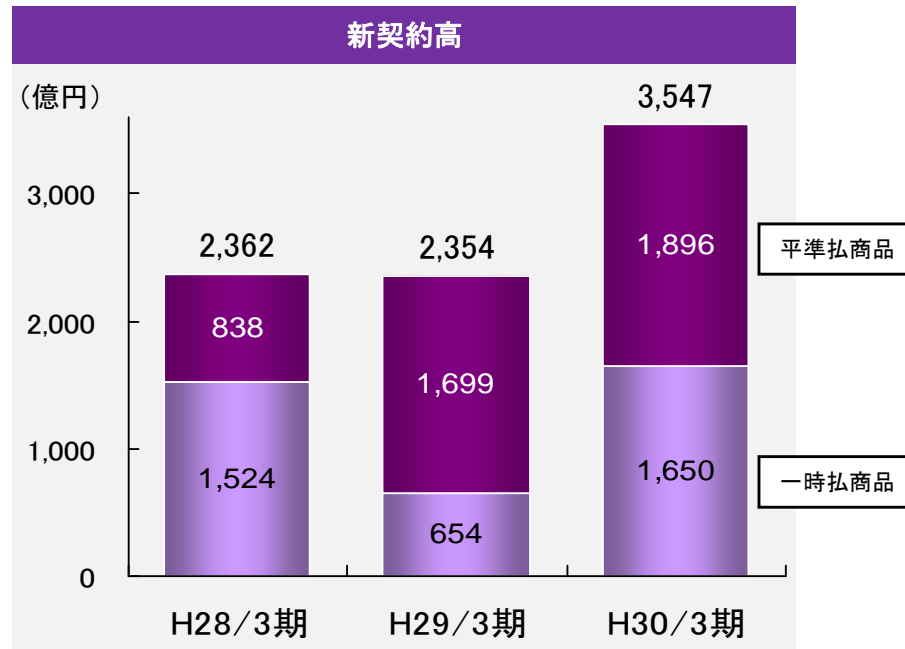
- 新契約高※は5兆2,314億円と、前期から2.2%の増加。これは主に、就業不能保障商品ならびに介護保障商品の販売が順調なことによる。
- なお、就業不能保障商品ならびに介護保障商品の新契約高は、昨年10月に発売した介護定期保険の販売が好調なことを主因に、2兆6,476億円と大幅に伸展し、前期の約2.5倍。
- 保有契約高※は42兆8,035億円と、前期末から4.4%増加し、過去最高を更新。

※ 個人保険・個人年金保険の新契約高(2兆9,954億円)および保有契約高(37兆6,622億円)に、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリース」と「介護定期保険」の介護保険金額を計上した場合の新契約高・保有契約高。

- ・ 企業に必要な保障に基づいて、死亡保障に加え、就業不能保障を含めた「トータルな保障のご提案活動」を推進。また、経営者等の要介護状態に対する保障ニーズの高まりを受け、介護保障の推進を強化。

【参考】T&Dフィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 一時払商品「生涯プレミアムワールド4」、平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売が好調。



- 新契約高は3,547億円、一時払商品は前期の約2.5倍。
- 保有契約高は2兆527億円、一時払商品・平準払商品とも販売好調により、前期末から9.2%の増加。

- ・ 平成29年5月から契約年齢範囲を拡大した一時払終身保険「生涯プレミアムワールド4」「生涯プレミアムジャパン4」の投入効果により一時払商品の新契約高は前期から152.2%の増加。
- ・ 平準払商品「家計にやさしい収入保障」の販売は前年に続き好調に推移し、同商品の新契約高は前期から19.5%の増加。
- ・ 引き続き「商品ラインアップの多様化」「代理店販売網の拡大」「お客さまサービスの向上」を推進していく。

参考データ(損益関係)

(単位:億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比
経常収益	19,283	Δ 474 (Δ 2.4%)	7,387	Δ 1,592 (Δ 17.7%)	9,880	+436 (+4.6%)	1,964	+406 (+26.1%)
うち保険料等収入	14,837	Δ 215 (Δ 1.4%)	5,119	Δ 1,424 (Δ 21.8%)	7,908	+245 (+3.2%)	1,764	+955 (+118.1%)
うち資産運用収益	3,727	Δ 299 (Δ 7.4%)	1,894	Δ 385 (Δ 16.9%)	1,718	+177 (+11.5%)	129	Δ 100 (Δ 43.7%)
うち利息及び配当金等収入	2,854	+88 (+3.2%)	1,377	Δ 4 (Δ 0.3%)	1,418	+94 (+7.2%)	74	Δ 1 (Δ 2.0%)
うちその他経常収益	718	+39 (+5.9%)	373	+218 (+140.5%)	253	+13 (+5.7%)	70	Δ 448 (Δ 86.4%)
経常費用	17,718	Δ 466 (Δ 2.6%)	6,759	Δ 1,553 (Δ 18.7%)	8,986	+369 (+4.3%)	1,939	+443 (+29.6%)
うち保険金等支払金	11,461	Δ 141 (Δ 1.2%)	5,227	Δ 126 (Δ 2.4%)	4,963	+114 (+2.4%)	1,249	Δ 133 (Δ 9.7%)
うち責任準備金等繰入額	2,628	+37 (+1.5%)	8	Δ 991 (Δ 99.1%)	2,327	+279 (+13.7%)	501	+501 (-)
うち資産運用費用	962	Δ 339 (Δ 26.1%)	452	Δ 378 (Δ 45.5%)	462	Δ 20 (Δ 4.2%)	48	+46 (-)
うちその他経常費用	641	Δ 70 (Δ 9.9%)	303	Δ 53 (Δ 15.0%)	197	Δ 9 (Δ 4.7%)	15	+2 (+16.8%)
経常利益	1,564	Δ 7 (Δ 0.5%)	627	Δ 38 (Δ 5.8%)	893	+67 (+8.1%)	25	Δ 36 (Δ 59.0%)
特別利益	0	Δ 2 (Δ 90.6%)	0	Δ 2 (Δ 88.8%)	0	+0 (-)	-	- (-)
特別損失	165	Δ 188 (Δ 53.3%)	42	Δ 149 (Δ 77.7%)	117	Δ 6 (Δ 5.6%)	4	Δ 31 (Δ 87.2%)
契約者配当準備金繰入額 (Δ 戻入額)	303	+49 (+19.5%)	156	+39 (+33.4%)	146	+10 (+7.6%)	Δ 0	Δ 0 (-)
税金等調整前当期純利益	1,096	+128 (+13.3%)	428	+69 (+19.4%)	630	+64 (+11.3%)	20	Δ 5 (Δ 19.5%)
法人税等合計	320	+106 (+49.7%)	123	+54 (+78.5%)	184	+49 (+36.8%)	4	+0 (+10.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	775	+23 (+3.2%)	304	+15 (+5.2%)	445	+14 (+3.4%)	15	Δ 5 (Δ 25.8%)

* 1 T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の合算とは必ずしも一致いたしません。

* 2 保険料等収入の3社合算は1兆4,792億円(前期比 Δ 1.5%)です。

* 3 特別損失(165億円)のうち、148億円は価格変動準備金への繰入(太陽生命:32億円、大同生命:110億円、T&Dフィナンシャル生命:4億円)です。

* 4 税金等調整前当期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、税引前当期純利益を記載しております。

* 5 親会社株主に帰属する当期純利益の生命保険会社3社欄の数値は、当期純利益を記載しております。

参考データ(その他の指標等)

■ 基礎利益と順ざや

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比	H30/3期	前期比
(上段)当期基準比較	1,484	△ 108 (△ 6.8%)	485	△ 49 (△ 9.2%)	1,007	△ 48 (△ 4.6%)	△ 8	△ 10 (-)
(下段)前・当期単純比較		△ 115 (△ 7.2%)		△ 49 (△ 9.2%)		△ 48 (△ 4.6%)		△ 17 (-)
順ざや額(△逆ざや額)	423	(+42.0%)	116	(+50.2%)	333	(+33.1%)	△ 25	(-)

* 基礎利益は、前期と算出基準※が異なっております。表上段の前期比は、前期の基礎利益を当期基準で算出した数値との比較です。
 ※ 当期基礎利益は、MVA(マーケット・バリュー・アジャストメント)に係る解約返戻金額変動に伴う損益を控除しております。

■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位:億円)

	3社合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	H30/3末	前期末差	H30/3末	前期末差	H30/3末	前期末差	H30/3末	前期末差
有価証券の差損益	11,682	+51	5,495	△ 130	5,127	+101	1,059	+80
うち公社債	7,503	+138	3,666	+43	3,162	+89	673	+4
うち株式	3,421	+560	1,450	+262	1,970	+297	-	-
うち外国証券	△ 180	△ 840	116	△ 494	△ 303	△ 351	6	+5
土地等の差損益	902	+300	442	+219	459	+81	-	-

* 1 有価証券の差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
 * 2 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

■ ソルベンシー・マージン比率と実質純資産

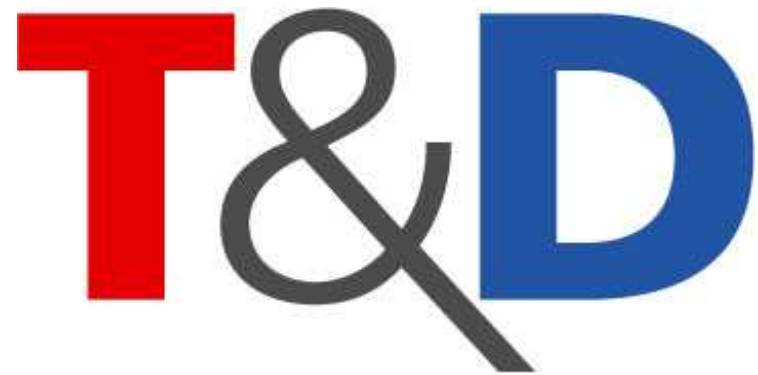
(単位:億円)

	ソルベンシー・マージン比率		連結ソルベンシー・マージン比率		実質純資産	
	H30/3末	前期末差	H30/3末	前期末差	H30/3末	前期末差
T&Dホールディングス			1,061.8%	43.3ポイント低下		
太陽生命	835.1%	13.5ポイント低下	842.6%	15.0ポイント低下		
大同生命	1,206.2%	46.4ポイント低下	1,214.0%	47.3ポイント低下		
T&Dフィナンシャル生命	1,258.3%	37.3ポイント低下				
T&Dホールディングス連結					27,076	+1,150
太陽生命					10,560	+206
大同生命					14,293	+748
T&Dフィナンシャル生命					1,973	+93

* T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

平成29年度の主なトピックス

●商品	
太陽生命	「My年金Best外貨」・「おひさま日和外貨」(29年7月)、「100歳時代年金」(29年10月)を発売
大同生命	「HALプラス特約」(29年7月)、「介護定期保険」(29年10月)を発売
T&Dフィナンシャル生命	「生涯プレミアムワールド4」・「生涯プレミアムジャパン4」(29年5月)、「ファイブテン・ワールド」(29年12月)を発売
●サービス	
太陽生命	「かけつけ隊サービス」の利用件数が4万5千件を超過(30年3月)
大同生命	中小企業の「健康経営」実践支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」の提供開始(29年4月)
●表彰等	
太陽生命・大同生命	「ユニバーサルマナーアワード2017」で受賞(29年9月)
	「UCDAアワード」で受賞(29年10月)
	経済産業省「健康経営優良法人」に認定(30年2月)
太陽生命	厚生労働省健康局長優良賞「健康寿命をのばそう!アワード」を受賞(29年11月)
	「第3回 ACAP消費者志向活動表彰」を受賞(30年2月)
	「第2回働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」で受賞(30年2月)
大同生命	総務大臣賞「テレワーク先駆者百選」を受賞(29年11月)
	厚生労働大臣表彰「グッドキャリア企業アワード2017」大賞を受賞(29年11月)
T&Dアセットマネジメント	「T&Dインド中小型株ファンド」が「リッパー・ファンド・アワード・ジャパン2018」で4年連続「最優秀ファンド賞」を受賞(30年3月)
●その他	
グループ各社	「お客さま本位の業務運営に係る基本方針」の策定(29年6月)
T&Dホールディングス	GPIFが採用した新ESGインディックスに選定(29年7月) (FTSE Blossom Japan Index、MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数、MSCI日本株女性活躍指数)
太陽生命	軽度認知障害を早期発見できる「MCIスクリーニング検査」を提供する株式会社MCBIIに島津製作所と共同出資(29年7月)
大同生命	大阪府と包括連携協定を締結(29年11月)



T&D保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報部 井本・勝呂	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 松島	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 平本	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 高橋	TEL 03-6745-6808